PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 02162589 A

(43) Date of publication of application: 22.06.90

(51) Int. Cl G11B 27/024

(21) Application number: 63319047

(22) Date of filing: 16.12.88

(71) Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(72) Inventor: IWAKUNI KAORU SHINPO MASATOSHI

(54) PICTURE EDITING DEVICE AND PICTURE EDITION TESTING METHOD

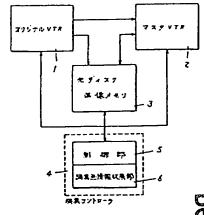
(57) Abstract:

PURPOSE: To execute extremely smooth editing work by executing work for the collecting point information of all editing point information and a picture editing test on a high speed optical disk picture memory and reaching to an arbitrary editing point within an average access time.

CONSTITUTION: On an optical disk picture memory 3, at first, the insertion starting point of a master side is determined in the picture of a master area, which is copied from a master VTR 2, and registered to an editing point information collecting part 6 of an edition controller 4. Simultaneously, on the optical disk picture memory 3, the starting point and ending point of the inserted picture in an original side are determined in the picture of the original side, which is copied from an original VTR 1, and registered to the editing point information collecting part 6 of the edition controller 4. The memory 3 is accessed at a high speed. Then, the picture of the master area is monitored until the insertion starting point, the picture of the original area is monitored from the starting point to the ending point and the picture of the master area is monitored after the ending point. Then, the picture

edition test is executed. After the confirmation of an edition effect is completed, a control part 5 is operated according to the information of the collecting part 6 and the edition is executed extremely smoothly.

COPYRIGHT: (C)1990, JPO& Japio



Best Available Copy

⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

平2-162589 ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

⑤Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)6月22日

G 11 B 27/024

G 11 B 27/02 8726-5D

C

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全5頁)

の発明の名称

画像編集装置及び画像編集試行方法

頭 昭63-319047 印特

29出 頭 昭63(1988)12月16日

何公発 明 者

図 岩

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

個発 明 者

正 利 新 保

大阪府門真市大字門真1006番地

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

の出 顋 人

松下電器産業株式会社

外1名

四代 理 人 弁理士 栗野 重産

1. 発明の名称

歯機編集装置及び置像編集試行方法

- 2. 特許請求の範囲
 - (j) 編集をほどこすべきオリジナル画像を再生す る手段と、編集中の百像を一時的に蓄積するパッ ファ手段と前記パッファ手段上で編集点情報を収 集する編集点情報収集手段と、前記編集点情報収 集手段によって収集された編集点情報に従って編 集の制御を行う制御手段と、編集済み画像を記録 する記録手段とを具備してなる画像編集装置。
 - (2) バッファ手段は光ディスク画像目盛であるこ とを特徴とする特許請求の範囲 1 項記載の画像器
 - (3) 編集をほどこすべき西礁を、アクセス速度の 早いパッファ手段に一旦格納し、数パッファ手段 上での高速アクセス雑能によって、複数の編集点 に対して連続的に面像環集試行を行うことを特徴 とする函像編集試行方法。
 - (4) パッファ手段は光ディスク画像メモリを使用

することを特徴とする特許請求の範囲 3 項記載の 面徵編集試行方法。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はテレビ番組やニュースの作成、及びビ デオソフト作成などに用いられる画像編集装置及 び画像編集試行方法に関するものである。

従来の技術

近年、業務用ビデオテープレコーダ(以下、V TRと略記する)の高性能化、小型化には著しい ものがあり、ニュース取材をはじめ、放送業務な とに広く用いられるようになってきた。一方、家 **庭用のVTRの普及にしがってビデオソフトの需** 要の仲びも目ざましいものである。このような状 況下で、より効率的に番組やビデオソフトを作成 するための画像編集装置及び画像編集試行方法は 極めて重要なものとなってきている。

以下、従来の画像額集装置について図面を参照 しつつ説明する。第3図は上記従来の画像編集装 置の最も基本的な構成の一例を示したプロック図 であって、21は編集すべきオリジナル画像をおさめたオリジナルテープを再生するオリジナルVTR、22はオリジナルVTR21に接続された、編集中及び編集済みのマスタテープを記録再生するためのマスタVTR、23は、オリジナルVTR21とマスタVTR22を割御する制御部24と編集を実行するための編集点情報収集部25とから構成された編集コントローラである。

以上のようにして排成された従来の画像編集装置に関してその動作を一般にインサート編集と称される編集を例にとって説明する。インタテープはにおいては、マスタソTR22上のマスクリジナルの画像を挿入記録することを行う。ことに編集することを行う。ことに編集することを行う。ことのでまず、スタソTR22が制御されて、マスタ側の排入開始点が次に、制御されて、東部プランスを開始されて、東部プランスを開始されて、東部プランスを開始されて、東部プランスを開始されて、東部プランスを開始されて、東部プランスを開始されて、東京では開始点、終了点が決定を開始点、終了点が決定を開始点、終了点が決定を表示といいます。

れ編集点情報収集部25に登録される。以上によって、1つの編集点に必要な情報がそろったので、 編集コントローラ23の編集点情報収集部25に登録された情報に従って制御部24によってオリジナル VTR21とマスタVTR22が制御され、確認のための画像編集試行、いわゆるプレビューが行われる。確認が完了すればオリジナルVTR21からマスタVTR22への挿入複写が実行されることとなる。

以下、上述した従来の画像編集試行方法について図を用いてさらに詳細に説明する。第4図は上述したインサート編集と称される編集方法を図によって示したものであって、マスタソTR上のマスタテープ31にすでに記録されていう一プ30に記録されている画像の一般を関かする場である。まず、マスタテープ31上で挿入を開始する点、いわテーブ30上で挿入を開始するカリジナルテーブ30上で挿入し、次にオリジナルテーブ30上で挿入し、次にオリジナルイン点32、及び、も面像の開始点であるオリジナルイン点32、及び、

終了点であるオリジナルアウト点33を決定する。 以上の3点を決定すれば、マスタ側の挿入終了点 となるマスタアウト点35は自ずから決定されるこ とになるのでマスタアウト点35は特に指定する必 竪はない。

以上のようにして一つの編集点に関して必要な情報がすべて決定されると、次の手順としては、 編集を実行する前に編集の効果を確認する意味で プレビューと称される画像編集は行が行われる。 画像編集試行を行う際には、オリジナルテープ30 はオリジナルイン点32を基準にして一定時間分、 マスタテープ31はマスタイン点34を基準にして同 一の時間分だけ密戻される。

これをプリロールと呼ぶ。プリロールののち、オリジナルテープ30、マスタテープ31はそれぞれ 再生を開始しプリロールによって巻戻された時間 内でオリジナルイン点32とマスタイン点34、及び オリジナルアウト点33とマスタアウト点35をそれ ぞれ完全に同時に通過するための調相処理がなさ れる。この調相処理によって、再生開始点からオ

リジナルイン点32及びマスタイン点34まではマス タテープ31の再生面像を、オリジナルイン点32及 びマスタイン点34からオリジナルアウト点33及び マスタアウト点35まではオリジナルテープ30の再 生画像を、オリジナルアウト点33及びマスタアウ ト点35から一定時間後に停止するまでは再びマス タテープ31の再生画像をモニターすることによっ て、実際に編集を実行する前に、編集によって西 像を挿入したのち再生画像とまったく同一の画像 を見ることができるのである。以上が、従来の西 像編集試行方法である。このようにして編集の効 果を確認したのちにマスタテープ31上のマスタイ ン点34とマスタアウト点35の間にオリジナルテー ププ30上のオリジナルイン点32とオリジナルアウト 点33の間の画像が記録されて挿入複写が完了し、 1編集点に関しての編集が終了することになる。 以下、第2の編集点である第2のオリジナルイン 点36、第2のオリジナルアウト点37、第2のマス タイン点38、第2のマスタアウト点39などについ ても同様の手収を繰り返して行くことになる。

(より詳細には、例えば、小川 武「ビデオ編集 技術」 第4章 東六郎出版を参照のこと)

発明が解決しようとする課題

しかしながら、上述したような、従来の面像編集装置及び画像編集試行方法では、編集を行うための媒体がテープであるためアクセス速度が遅く、所望の編集点に到達するのに砂単位の時間を要すること、調相のためのプリロールが不可欠であることなどによって、前述した画像編集試行が1編集点ごとにしかできないために編集効果の確認が円滑に行えないという課題を有していた。

本発明は上記の課題に鑑みてなされたものであって、 100分の 1 から1000分の 1 秒単位の時間で所望の編集点をアクセスできるとともに、複数の編集点に対して連続的に画像編集試行が行える優れた画像編集装置及び画像編集試行方法を提供するものである。

課題を解決するための手段

上記の課題を解決するために、本発明における 画像編集装置及び画像編集試行方法は、編集中の 画像を一時的に蓄積する高速のパッファ手段と、 そのパッファ手段上で編集点情報を収集する選集 点情報収集手段とを備えたものである。

作用

本発明は上記した構成をとることによって、高速アクセスが実現されるために、 100分の 1 から1000分の 1 秒単位の時間で所望の頻集点に到達できるとともに、多数の編集点に対して連続的に置像編集試行が行えることになる。

実施例

以下、本発明の一実施例の画像編集装置及が可像編集装置及がら認明を参照しないで、図面を参照しないののである。第1図は本発明の一実施例におけるのである。第1図は本発明のである。第1図はおけるのである。第1回数字では編集すべきオリジナル画像をおされて、以下、といるでは編集のでスタテープを記録再生するためのマスタテープを記録再生するためのマスタンで、3はオリジナルVTR1とマスクマスに接続された高速パッファである光ディス

ク画像メモリ、4は、オリジナルVTR1とマスタVTR2及び光ディスク画像メモリ3を制御する制御部5と編集を実行するための編集点情報収集部6とから構成された編集コントローラである。以上のようにして構成された本発明の一実施例における画像編集装置について、以下その動作を削述のインサート編集を例にして説明する。

てオリジナル側の排入画像の開始点と終了点が決 定され、編集コントローラ4の編集点情報収集部 6 に登録される。以上によって1つの編集点に必 要な情報がそろったので、編集効果の確認のため に編集コントローラ4の編集点情報収集部6に登 録された情報にしたがって制御郎5が作動し、光 ディスク画像メモリ3を高速アクセスして挿入開 始点まではマスタ領域の直像を、挿入開始点から 終了点まではオリジナル領域の画像を、終了点以 ほはマスタ領域の函像をモニタする事によって西 像編集試行が実行される。この際、従来のように プリロールの必要性がないので多数の編集点につ いて連続して西像編集試行を実施することも容易 に行える。画像領集試行によって編集効果の確認 を完了すれば、経集コンロトーラ4の編集点情報 収集部6に登録された情報にしたがって制御部5 が動作し、オリジナルVTR1からマスタVTR 2への挿入復写が実行されることになる。

以上のように本実施例によれば、すべての頻集 点情報の収集作業と画像編集試行の作業を高速の 光ディスク画像メモリ上で行うことができるので、任意の編集点に対して光ディスク画像メモリの平均アクセス時間である 100分の 1 から1000分の 1 かの時間内で到達できるため、きわめて円滑な編集作業が実現できる。

定する必要はない。このようにして、2つの編集 点について必要とされる情報をすべて確定したの ち画像編集試行が実行される。画像編集試行は、 まずマスタ領域11の第1のマスタイン点の一定時 間前から画像再生を開始し、第1のマスタイン点 14に到達すると、高速アクセス機能によって第1 のオリジナルイン点12にジャンプして函像再生を 継続し、第1のオリジナルアウト点13に到達する と同様に高速アクセスによって第1のマスタアウ ト点15にジャンプして画像再生を継続し、第2の マスタイン点18に到達すると第2のオリジナルイ ン点18にジャンプし、第2のオリジナルアウト点 17に到途すると第2のマスタアウト点19にジャン アして一定時間画像再生を継続したのち停止する という順序で実行されることになる。このように 本実施例の画像編集試行方法によれば各編集点ご とにプリロールを行う必要がないので、複数の編 集点に対して連続した画像編集試行を実行できる ことになるのである。

発明の効果

以上のように、本発明は、編集中の画像を一時 的に蓄積する高速のパッファ手段と、そのパッフ ァ手段上で編集点情報を収集する編集点情報収集 手段とを備えたことによって、100分の1から 1000分の1秒単位の時間で所望の編集点をアクセ スできるとともに、多数の編集点に対して連続的 に面像編集試行が行える優れた画像編集装置及び 画像編集試行方法を実現できる。

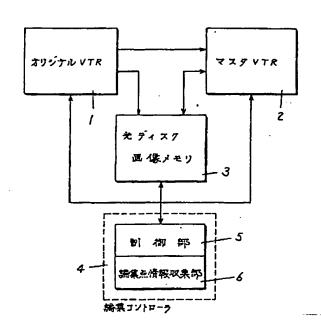
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例における面像編集装置の構成を示すプロック図、第2図は本発明の一実施例における面像編集試行方法を示した平面図、第3図は従来の画像編集装置の構成を示すプロック図、第4図は従来の画像編集の方法を示したテープの要部拡大図である。

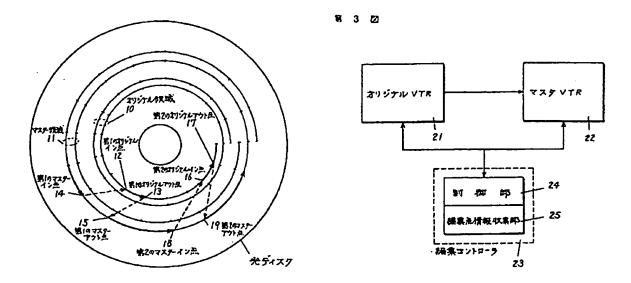
1 ……オリジナルVTR、2 ……マスタVTR、3 ……光ディスク画像メモリ、4 ……編集コントローラ。

代理人の氏名 弁理士 粟野重孝 ほか1名

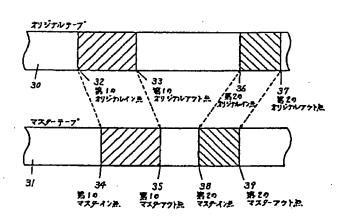
卷 1 図



第 2 ②



B 4 🗵



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

-
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Maruen comall Prints

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.